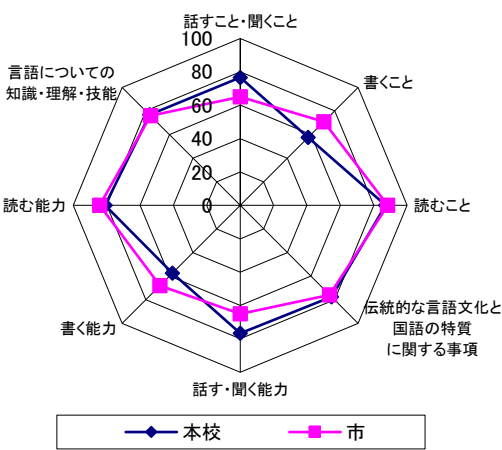


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	76.7	65.0	62.9
	書くこと	57.5	70.9	71.3
	読むこと	87.1	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.5	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	76.7	65.0	62.9
	書く能力	57.3	68.0	68.0
	読む能力	80.9	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	76.8	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞いたり、司会者の役割を理解して適切な発言内容を考えて書く問題であったが、市の平均を大きく上回った。	・今後も、学級活動等の話し合いの場を多く設定し、体験的に学ぶことができるようにする。また、日頃から話を聞いたり話したりする活動の際には、話し手の意図を考えながら話を聞いたり、理由と共に意見を述べたりすることを意識させる。
書くこと	●記事の内容に対して、グラフを用いた資料を読み取り、意見文を書く問題では、正答率は4割程度であり、資料の読み取り、文章に適切に書き表すこと、どちらにも課題があるといえる。 ●指定された文字数や段落構成で、自分の意見を理由を添えて書く問題では、市の平均を下回った。	・グラフの読み取りについては、算数や社会等、他教科とも関連付けて指導を行っていく。 ・新聞記事の要約や、それについての感想や考えをまとめるなど、文字数や段落構成等の条件を踏まえて書く経験を多く積ませ、自分の考えを表現できる力を身に付けられるように指導を行う。
読むこと	○●「読むこと」では、物語文、説明文ともに市の平均と同程度であったが、物語において、目的や必要に応じて場面の描写と登場人物の心情を読み取る設問では、市の平均を下回った。	・物語文の読み取りでは、場面の描写から登場人物の心情を読み取り、それについて友達と話し合うなど、読みを深める指導を行っていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○●漢字の読み書きの設問では、市の正答率とほぼ同程度であるが、5年生の漢字を書く問題では、正答率が5割程度のもも見られることから、復習が必要である。 ○国語辞典の使い方については、正答率が高く、市の平均を大きく上回っている。 ●文の構成(述語)については、正答率が5割であり、課題といえる。	・漢字の読み書きは当該学年以前の漢字から繰り返し復習を行い、定着を図っていく。 ・文の構成については、朝の学習の時間などで再度確認し、定着させる。